

第 23 回日本時間生物学会学術大会の開催にあたって

この度、23 回目の学術大会を「生物を理解し、制御する」と題して開催させていただくことになりました。また、2 年に一度、開催されている国際シンポジウムを“Towards understanding the molecular clockwork”と題して学術大会前日に開催させていただくことになりました。

近年の生物時計の研究の進展には目を見張るものがあります。従来の個々の遺伝子の働きを一つずつ理解するという次元から、システムレベル、あるいは原子レベルでの理解へと飛躍を遂げています。国際シンポジウムでは午前中に近藤孝男先生、Carl Johnson 先生、村中智明先生、三輪久美子先生にシアノバクテリアの時計機構の最前線についてご紹介いただくとともに、基調講演に今泉貴登先生をお迎えして植物の開花の概日時計制御機構についてご講演いただきます。また、午後には本間研一先生、本間さと先生のご厚意により、Aschoff-Honma Prize Lecture として Johanna Meijer 先生にご講演いただくとともに、John O'Neill 先生にもご講演いただきます。また夕方のセッションではシステムレベルの研究で世界を牽引されている Achim Kramer 先生、上田泰己先生、深田吉孝先生、Ueli Schibler 先生にご講演いただきます。国内外から著名な先生方にお越しいただくには様々な支援が不可欠ですが、国際シンポジウムは本学会とともに名古屋大学博士課程教育リーディングプログラムとトランスフォーマティブ生命分子研究所のご支援を受けて実現しました。国際シンポジウムのポスターセッションはリーディングプログラムに所属する大学院生によって運営されていますので、次の時代を担う学生の活動を温かく見守っていただけると幸いです。

学術大会は私の所属する世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)の全面的なサポートによって実現しました。ITbM では生物、合成化学、計算科学の融合から、暮らしの在り方を変容するような分子の創出を目指しています。学術大会では特別講演 I として ITbM の拠点長の伊丹健一郎先生に合成化学、時間生物学、植物科学の融合から生まれたワクワクする研究についてお話しいたします。さらに、特別講演 II では、ITbM と同じ年に発足した WPI 国際統合睡眠医科学研究機構(IIS)の拠点長の柳沢正史先生に「睡眠覚醒の謎に挑む」と題して睡眠覚醒の中核を担うと考えられる遺伝子の同定について壮大な物語をご講演いただきます。また特別企画シンポジウムでは「基礎と応用の融合」と題して、井澤毅先生、廣田毅先生、岡村均先生に最先端の研究をご披露いただきます。さらに今大会では私の敬愛する若手研究者の皆様にプログラム委員をご快諾いただき、非常に意欲的かつ魅力的な 6 つのシンポジウムを企画していただきました。自分自身が心躍る大会を演出できるところが主催者の特権ですが、いずれの演題も是非聴いてみたい話題ばかりで、大会当日が楽しみでなりません。

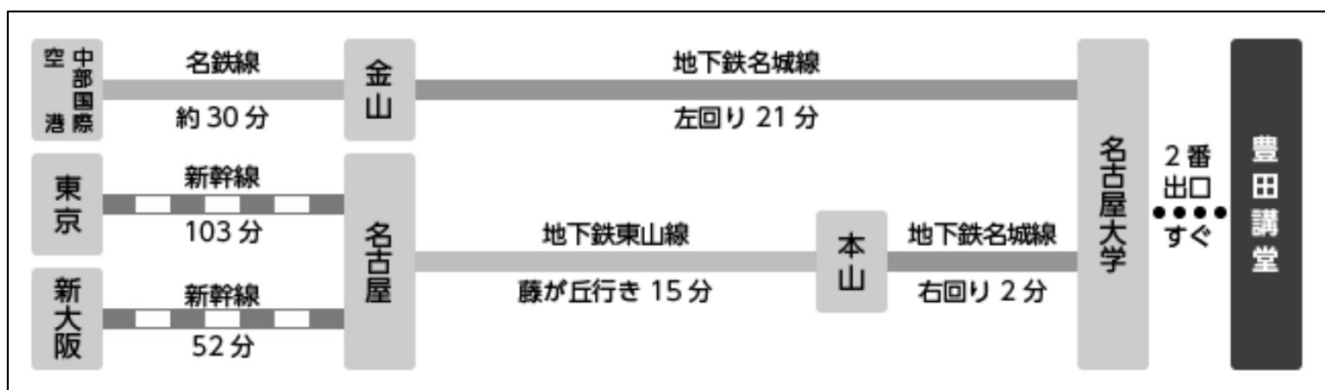
最後に本大会の開催に際し、主催の日本時間生物学会、寄付、広告、企業展示、ランチョンセミナーなどでご協賛いただいた企業および団体、またご講演いただく先生方、ポスター演題にご登録いただいた皆様、学会へ足を運んでいただく皆様、大会の準備に携わっていただいたプログラム委員、大会準備委員とその研究室メンバー、ITbM、リーディングプログラムの皆様に心から御礼申し上げます。

大会長 吉村 崇

名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

会場へのアクセス

■交通案内（名古屋大学東山キャンパスまで）



・ 中部国際空港から

[中部国際空港] → 名鉄線（名鉄線約30分）→ [金山]
→ 地下鉄名城線（左回り21分）→ [名古屋大学] 2番出口すぐ

・ JR名古屋駅から

[名古屋駅] → 地下鉄東山線（藤が丘行き15分）→ [本山]
→ 地下鉄名城線（右回り2分）→ [名古屋大学] 2番出口すぐ

・ 大学内の駐車場はご利用いただけません。自家用車でのご来場はご遠慮ください。

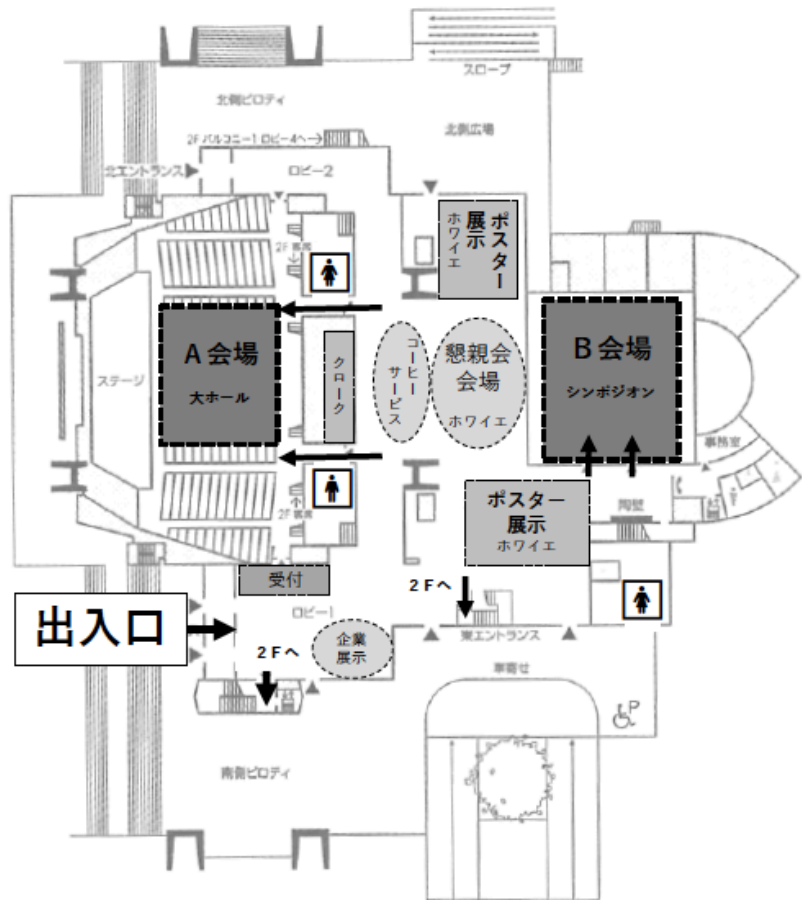
タクシーでお越しの場合は、名古屋駅から約30分（約3300円）、金山駅から約25分（約2800円）です。所要時間、料金は交通状況により異なります。

■アクセスマップ（名古屋大学駅から豊田講堂まで）

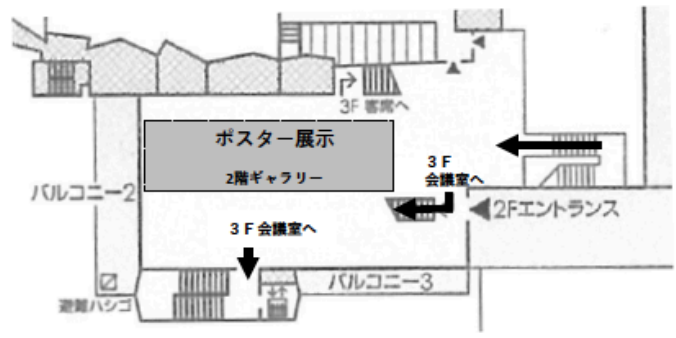


会場案内 豊田講堂

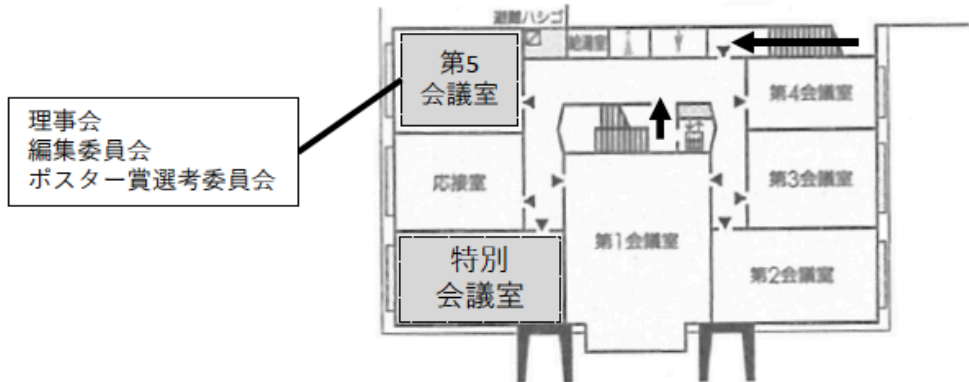
1 F



2 F



3 F



大会参加者の皆様へ

■受付

大会受付は、豊田講堂入口付近にて、11月12日（土）8:30、および11月13日（日）8:00（13日）より開始します。

・事前参加登録をされた方

受付にてご自身の名札をお持ちください。

・当日参加の方

受付に置いてある「登録用紙」にあらかじめ記載の上、当日参加デスクにお越しください。

参加費は現金でお支払いください。クレジットカードでのお支払いはできません。

当日参加登録費 一般 7,000円

学生 5,000円

■クローク

受付と同じフロアにクロークを設けております。なお、貴重品、壊れやすいもの、傘、コートはお預かりできませんので、あらかじめご了承ください。

■昼食

11月12日（土）は1階ホワイエにて立食形式で軽食をご用意いたします。11月13日（日）はランチオンセミナー会場（B会場）入口でお弁当をお配りいたしますので、希望者は会場までお越しください。

■懇親会

11月12日（土）18:30より1階ホワイエにて懇親会を行います。当日の参加申し込みは18:00まで受付で承ります。懇親会費は現金でお支払いください。懇親会会場では名札を着用してください。

懇親会費 当日参加登録 一般・学生 7,000円

■評議員の皆様へ

学術大会に参加した評議員は優秀ポスター賞の審査委員を務めて頂きます。記名投票とし、順位をつけずに3名まで選出をお願いいたします。ご本人が発表者および共著者に含まれるポスターへの票は無効となります。受付にて用紙を受け取り受付の投票箱に投票をお願いいたします。〆切は11月13日 11:00です。

■録音や撮影の禁止

発表者の許可なしに講演スライドやポスターの撮影、録音を行うことを禁止します。

■入場に関して

大会期間中は、名札を必ず付けてご入場ください。

■抄録集（学会誌）販売

受付で抄録集（学会誌）を一冊2,000円にて販売致します。

各種委員会

■理事会

日時：11月11日（金） 12:00 - 15:00

場所：豊田講堂3階 第5会議室

■時間生物学編集会議

日時：11月12日（土） 11:30- 12:30

場所：豊田講堂3階 第5会議室

■ポスター賞選考委員会

日時：11月13日（日） 11:40- 12:40

場所：豊田講堂3階 第5会議室

関連集会

■ International Symposium on Biological Rhythms (JSC 国際シンポジウム) “Towards understanding the molecular clockwork”

日時：11月11日(金) 9:00 - 18:30

会場：名古屋大学 豊田講堂

世話人 吉村崇（名古屋大学）

近藤孝男（名古屋大学）

本シンポジウムは、第23回時間生物学会学術大会の共催として開催いたします。
学術大会に参加登録された方は無料でご参加いただけます。